

しょう しん しょう めい
笑進笑明



<校訓>

・学ぶ力
・働く力
・正す力

平群中だより
編集者:吉迫隆志
NO.11
令和5年12月12日

“師走(しわす),,

～今年も残りわずか 2学期を締めくくろう!～



9月、猛暑の中スタートした2学期でした。夏日が続き、短い秋、そして寒さが身にしみる冬本番を今まさに迎えています。長かった(?)今学期でしたが、みなさんどうでしたか?充実した時を過ごすことができましたか。みんなは日々、様々な経験をしながら成長をしています。

よいことも、苦しいことも、全て自分を大きくしてくれるための大切な“栄養の源,,です。経験を「力」してどんどん大きくなっていてください。残りの時間、この色々な経験を振り返りながら、今学期をしっかりと締めくくりましょう。

私から見た君たちは、行事への取り組みに代表されるように、いろいろな場面で力を発揮できていたなあ。そして、活気ある学校として、日々頑張っているなあ、という手応え(こちらの働きかけに対する好ましい確かな反応)を感じさせてくれています。これは全ての学年にあてはまることです。授業中の様子や生徒会の活動(各専門委員会の活動も含めて)も、ボランティア活動も放課後の部活動も・・・です。何より嬉しく感じるのは何気ない会話を交わした時に、みんなが「良い笑顔」を見せて話してくれることです。「調子はどう?」「頑張ってるね!」という声かけに、輝いた瞳で「はい!頑張ります!!」とこたえてくれます。とても、元気をもらえますし、気持ちがいいものです。

全ての生徒たちにとって、毎日の学校生活が、楽しく充実したものであって欲しいと願っています。本校の341名、全員にとって楽しい平群中学校であって欲しいのです。自分たちの回りをぐるりと見渡してみてください。

「寂しそうな顔はありませんか?」「つらそうな表情の人はみあたりませんか?」どんな場面や場所でも、みんなで明るく元気な声が響きわたっていますか?

元気で楽しい学校をつくっていくには、君たち一人一人の力が必要です。もし、周囲に傷ついた顔や心があるならば、手をさしのべ、考え救いあげることができるのも君たち一人の力です。学校は君たちの心を結集させつくり上げていく「場」です。2学期を振り返り、手応えが感じられるからこそ、さらに進化させられるように進めていきましょう!!

よく考えよう! そのひとこと きちんと伝わっているかな?

皆さんは友達の気持ちを考えて、一言一言のことばを正しく伝えることができますか? 何気ない一言を、きちんと伝えられずに周りの人を嫌な思いにさせたり、悲しめたりしていませんか?

「人にかける言葉というのは、その一言で、あなたも私も温かい気持ちになれる。」ということ意識して欲しいと思います。

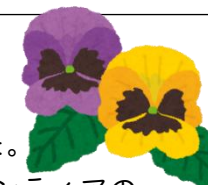
行事を通して、皆さんの頑張りをたくさん見つける事ができました。そこには、ちょっとした「いい言葉」がありました。その言葉によって自分の心が温かくなり、周りの人を幸せな気持ちにさせていました。「いい言葉」・「喜ばれる言葉」を友達から言われると『不思議なパワー』をもらえます。日々の学校生活の中で、「いい言葉」をたくさん使って、みんなで元気になりましょう。

『口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために・・・』

『耳は人の言葉を最後まで聞いてあげるために・・・』

平群中学校のみんなには、口や耳はこんな風に使ってもらいたいです・・・

「花いっぱい学校」にしよう!



12月1日、期末テスト最終日の放課後、「花壇づくり」を行いました。新旧生徒会役員、有志の人たち(生徒、PTA、保護者の方、地域ボランティアの方々、先生)の力を結集して作りあげました。花いっぱいの学校(人の心に届けたい)という願いをもって活動しました。



生徒会一斉専門委員会 開催

12月8日、生徒会一斉専門委員会を開きました。後期の委員としては初めての会議です。新しく委員として出席した人は、若干緊張した様子もありました。前期に引き続きとなった人は、これまでの経験を活かして、各委員会が目指すところに向けて、しっかりと引っぱってあげてください。先日、新生徒会本部役員の数名がこれからの意気込みや取り組んでいきたいことなどの熱い思いを語ってくれました。

これからの“平群中学校,,がみんなにとって楽しく充実したものであるようにという強い決意が感じられ、とても嬉しくなりました。

大いに期待しています! さあ「頑張ろう、みんなで」

